



— 第4号 —

地域・だいがく連携通信

— 神戸大学地域連携ニュース —

神戸大学地域連携推進室
〒657-8501
神戸市灘区六甲台町 1-1
TEL:078-803-5029
FAX:078-803-5049
E-mail:ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

2008年度 地域連携活動発表会を開催

2009年1月13日、神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室で地域連携活動発表会を開催しました。この発表会は、神戸大学の地域連携活動を学内外に発表し、各方面からの批評を聞く場、また意見交換の場とすることを目的に2005年から毎年1回、開催しています。

今回の発表会では、「青野原俘虜収容所里帰り展覧会・演奏会」についての報告と2008年度学内公募事業から、経済経営研究所及び神戸大学児童文化研究会の事業報告があり、さらに人文学研究科、農学研究科、保健学研究科の3地域連携センター及び国際文化学研究科の異文化研究交流センター、人間発達環境学研究科のヒューマン・コミュニティ創成研究センターの活動報告がありました。

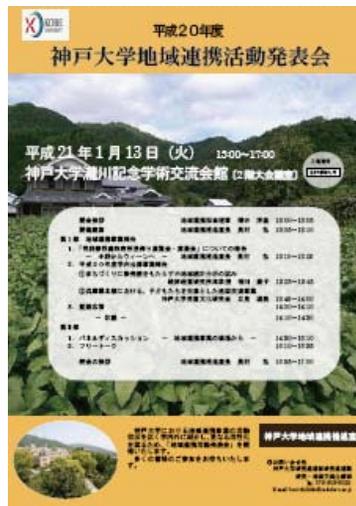
学外からは、神戸新聞社の金井恒幸小野支局長、神戸市灘区まちづくり課の山上智子課長にご出席頂き、神戸大学との地域連携の関わりについてご意見をいただきました。

パネルディスカッションでは、学内の代表者と学外のパネラーにより、地域連携におけるニーズの適正化やボランティアに関して、これまでの様々な活動を踏まえた活発な意見交換が行われました。

会場には、大学コンソーシアムひょうご神戸の事務局長や兵庫県都市政策課及び神戸市大学連携支援室の行政担当の方々も出席され、パネルディスカッションに引き続いて行われたフリートークでは、本学における今後の地域連携活動について示唆に富んだご発言をいただきました。

この発表会の模様は、『神戸大学地域連携活動発表会報告書』（2009年3月発行）にまとめています。報告書ご希望の方は地域連携推進室までご連絡ください。

(研究推進課 研究・地域交流企画係 078 - 803 - 5029)



他大学訪問

佐賀大学地域貢献推進室

<http://www.saga-u.ac.jp/chiiki/>



年の暮れもせまった12月5日、佐賀市にある佐賀大学地域貢献推進室を訪問しました。佐賀大学では、佐賀市中心商店街に、地域貢献推進室分室「まちづくりサテライトゆつつら〜と館」を設置するなど、「社会に開かれ、社会に貢献する佐賀大学」として、さまざまな地域貢献事業を推進しています。昨年は、佐賀大学地域学歴史文化研究センターの先生方が人文学研究科地域連携センターに来訪され、神戸大学の地域連携推進体制について質問を頂きました。今回の訪問は、佐賀大学の地域連携の取り組みについて参考にさせていただくためです。お忙しい中、地域貢献推進室副室長をはじめ、事務局の方々から貴重なお話を聞くことができました。

地域貢献推進室によると、2008年10月に、市町(市長会、町村会)、県(佐賀県)、産業界(商工連合会、商工会議所連合会)、大学(佐賀大学)による「産学官包括連携協定」を締結したとのことでした。これまでの地域貢献事業を進める中で、まちなか再生事業や地域医療・福祉の問題等、佐賀県内には共通の課題があるのがわかってきたので、佐賀大学と佐賀県を核に、共通課題の解決に取り組み、その方法を県内に広める方法をとろうということになったということでした。佐賀県には大きなシンクタンクがなく、県のシンクタンクとしての役割が期待されているとのことでした。

翌日、地域学歴史文化研究センターでは、「佐賀学創成プロジェクト」の一環として、地域学シンポジウムが行われました。神戸大学地域連携推進室長奥村弘教授が、「地域歴史文化における大学の役割—神戸大学と小野市の連携を中心に」とのタイトルで、神戸大学の取り組みを報告しました。

佐賀大学は、地域連携の事務を研究協力課が担当するなど、神戸大学とよく似た体制で、率直な意見交換を行うことができました。特定の教員に負担がかかりがちなことや予算のやりくりなど、同じような悩みを持っていることもわかり、組織の運営の仕方など、大いに参考になりました。



神戸市灘区との連携事業

のびやかスペースあーち

人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創生研究センターが中心となって運営しているサテライト施設「のびやかスペースあーち」(以下、「あーち」)は、「子育て支援をきっかけにした、共生のまちづくり」をめざし、2005年9月にオープンしました。灘区役所の庁舎移転によってできた空きスペース(旧庁舎2階)を改修して、神戸市から神戸大学が場所の提供を受けています。



地域の子育てを支援する「あーち」は誰でも無料で利用することができます。「あーち」では、いろんなプログラムが準備されており、そのうち「おひさまひろばあーち」では親子で色々な遊びを楽しみながら親も子ども友達を作ることができます。

また、「ぼっとらっく」は就学前の軽度発達障害児と家族のための支援教室として保健学研究科地域連携センターが担当しています。保健学研究科地域連携センターのこの活動は、2007年4月、神戸市須磨区に同様のプログラム「すまいる・ぼっとらっく」を開設するきっかけとなりました。

各センターの活動報告

農学研究科地域連携センター

農学研究科地域連携センターの活動には3つの柱があります。1つは地域と共同で研究する地域共同研究活動。2つ目が地域と交流する地域交流活動。3つ目には相談活動と情報発信活動。地域交流活動では、「地域連携研究会」を年に数回開催し、今年度は2008年11月10日、「有機農業研究の転換点」というテーマで発表を行いました。特に、国として有機農業を推進するという仕組み作りをスタートさせているのに伴い、地域連携研究会も新たな方向性を受けた内容となりました。また、灘区の水道筋商店街において、毎月第3日曜日に、生産者、神戸大学農学部生、NPO法人「食と農の研究所」および水道筋商店街協同組合と協働で農産物や農産加工品を即売する「水道筋まちむら交流市」を実施しています。



学生による地域連携活動

神戸大学児童文化研究会

神戸大学児童文化研究会(以下、通称「どうけん」)は、「子供のよりよい成長」を願い、活動しています。「どうけん」は、大正2(1913)年に創設されました。それ以後、約90年間、活動を休止していた時期もありましたが、現在は子ども会、児童劇、人形劇というグループに分かれて活動しています。子ども会グループは、大学周辺の鶴甲小学校区の子どもたちを中心に「鶴甲子ども会」を組織して、毎週土曜日の午後と一緒に遊んでいます。児童劇グループは、神戸市を中心とした小学校やホールなどで、小学生を対象とした児童劇を行っています。脚本、衣装、舞台美術などすべて手作りです。人形劇グループは、神戸市を中心とした幼稚園、保育園や小学校などで、幼児～小学校低学年を対象とした人形劇を行っています。人形はもちろん、脚本や小道具も全て手作りです。



夏休みには兵庫県北部地域の地元小学校やホールにおいて合宿やキャンプ(夏期巡回公演)を通じて、子供たちの心に残る活動を続けています。今回、「どうけん」の活動は、神戸大学地域連携推進室が公募した平成20年度「学生による地域貢献活動」に採択され、神戸大学地域連携活動発表会にて活動報告を行いました。 <http://home.kobe-u.com/doken/top.html>

<活動報告>

9月27日	第8回神戸学院大学地域研究センター学術フロンティアシンポジウムに参加
10月16日	第1回大阪大学21世紀懐徳堂シンポジウムに参加
11月10日	農学研究科地域連携センター主催、「地域連携研究会」を開催
12月 2日	兵庫県まちづくり担当部と地域連携協定を更新(まちづくり促進)
5日	佐賀大学地域貢献推進室を訪問
1月10日	保健学研究科地域連携センター報告会を開催
13日	2008年度神戸大学地域連携活動発表会を開催
16日	附属図書館震災文庫と「人と防災未来センター」との間で資料の横断的検索開始
2月 1日	人文学研究科地域連携センター主催、「歴史文化をめぐる協議会」を開催
3月10日	兵庫県と地域連携協定締結(地域医療連携推進事業)

編集後記

今年の地域連携活動発表会では、はじめて、学生による地域連携活動の報告が行われました。神大生は、いろんな所で、地域の方々と一緒になって、活動しているようです。そんな彼らの元気一杯の様子もお知らせできたらなと考えています。今年の桜は早いようですね。